


調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 23日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年10月30日から10月31日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知	
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばんさんセンター	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	本年度の全国市議会議長会高知県高知市において「議会活性化のための船中八策」と題した研究フォーラムが開催され、議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿について討論を行う。 議会改革を鋭意推し進める瀬戸市議会にあつて、本年度は議会基本条例の見直し評価が予定されており、新たな取り組みについても、他市事例を参考にすることも欠かせないポイントとなる。研修を活用し議会改革推進に寄与したい。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・富田宗一・小沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮菌伸仁・柴田利勝・高島淳・11名	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 1年 11 月 21日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和1年10月30日から10月31日まで（1泊 2日）
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田3992-2 高知ちばさんセンター
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>本年度の全国市議会議長会は高知県高知市において「議会活性化のための船中八策」と題した研究フォーラムが開催され、議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿についての討論を傍聴した。</p> <p>議会改革を鋭意推し進める瀬戸市議会にあって、本年度は議会基本条例の見直し評価が予定されており、新たな取り組みについても、他市事例を参考にすることも欠かせないポイントとなる。研修を活用し議会改革推進に寄与したい。</p>
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>【30日】 基調講演【現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性】 中島 岳志氏（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）</p> <p>1 政治のマトリクス 自民党の50年 希望の党はなぜ失敗したのか</p> <p>2 ラディカルデモクラシーとポピュリズム 立憲民主党はなぜフィーバーしたのか 「枝野立て」→「立憲民主党はあなたです」 しかしながら2018年8月以降 支持率急降下（新たな物語の欠如） 自民党総裁選挙で盛り上がり ：れいわ新撰組フィーバー</p>	

3 リベラルの逆説

リベラルの起源としての宗教戦争・異なる他者といかに共生していくのかという問いから結論としては個人の価値の領域には土足で踏み込まないとして寛容としてのリベラル、自由のパラドクスの確立が生まれる。

4 保守とは何か

真に理知的な人間は、理知の限界を理知的に把握する。斬新主義とは社会を保守するための改革。

パネルディスカッション「議会活性化のための船中八策」

坪井 ゆずる氏（朝日新聞論説委員） 高部 正男氏（市町村職員中央研修所学長） 横田 響子氏（株式会社コラボ代表取締役・お茶の水女子大学客員准教授） 古川 康造氏（高松丸亀商店街振興組合理事長） 田鍋 剛氏（高知市議会議長）

1 そもそも議会に必要なこと

- ① 20年後の住民は幸せかを考えて政策立案
- ② 提言しっぱなしになっていませんか、PDCAを実践してますか
- ③ 若手、女性の参加を巻き込んで街を活性化することは

2 議会改革の具体的アイデア

- ① 中長期視点で街の目指す方向を議論（人口減を前提に）
- ② ガチンコ会議を多様な人材で実施
- ③ 経験の機会の提供・・・中長期戦略を検討する機会
・・・住民参加の事業仕分け・参考人など接触機会を増やす→土日夜間も活用。
（仕事）・民間、NPOと協働の際、後見人
+新たな担い手セット

3 丸亀町商店街の再開発

- ① 定期借地を活用した再開発の仕組み→再開発成功の大前提はコミュニティの現存・・・行政の支援があっても、地域コミュニティが崩壊しておれば開発は不可能である。生まれ育った地元に対する熱意と触媒とコミュニティの存在こそが、再開発の成功には必須の条件であるのは間違いない。

4 高知市議会の概要

主な取り組み・・・議会独自の行政評価を開始、政務調査費の使途の透明性を高める条例改正、予算決算常任委員会を設置

【31日】課題討議 「議会活性化のための船中八策」

坪井 ゆずる氏（朝日新聞論説委員） 滝沢 一成（上越市議会議員）

久坂 くにえ氏（鎌倉市議会議長） 小林 雄二（周南市議会議長）

テーマ

- ① 女性議員・・・女性ゼロ議会やセクハラについての意見交換がなされた。
- ② なり手不足・・・一般議会、特別区でも216議会（27%）が課題になっていると回答。解決策を模索している。
- ③ 報酬・・・・・・・・この4年間での報酬減の議会は49、報酬増は400議会であった。住民の理解を得て、議員専業でくらしゆける報酬にしていくことは重要である。
- ④ 議会基本条例・・・制定している議会は519、近く検討の議会も17あり基本条例の標準装備化がすすむ実態は浮かんでいる。
- ⑤ 3ない議会・・・首長提案議案をひとつも否決、修正をしていない。議員提案の政策条例をひとつも制定していない。議員個人の賛否を公開していない。これらが全てあたるのが3ない議会である。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

上越市の市議を目指しやすい環境整備検討会は参考になった。市民の声を市政に反映させるうえで、男女を問わず市民の各年齢層から市議がいるのが望ましいが残念ながら現状はそうではない。市議を目指す環境とは何か。その整備に向けて市議を目指すことを阻害する現状の要因を把握して、改革案を策定していくことが重要だと感じた。